

みんな！信州行こうよ！！

長電乗ろうぜ～信州縦断紀行～！！！！

こんにちは。旅行・鉄道研究部 路線研究課です。

今回はコロナウイルス流行前の1月に行った長野電鉄の貸し切りについて書いていきたいと思います。

東京～長野～（貸し切り）～長野～蕨崎～新宿という行程の下、午前中の長野市内観光、長野～蕨崎までは自由行動でした。

東京 07：52→→JR 北陸新幹線 はくたか 553 号・金沢行→→長野 09：30

まずは新幹線で長野まで直行し、そこでいったん解散した後は自由行動で午前中は長野市内の観光をしました。

時間的にもちょうどよかったので新春ということもあり、初詣もかねて善光寺に参拝しました。長野駅からアルピコバスに乗って終点「善光寺大門」で下車。時間が合えば長野電鉄「善光寺下」から向かうこともできます。雪が残る石畳の表参道に入り、仁王門をくぐって仲見世を抜けると山門が見えてきます。この山門は榎葺き（とちぶき）と呼ばれる伝統的な屋根を持つ重要文化財ですが、山門の横から中に入ることができたので二階へ登楼しました。二階からは眼下に広がる街並みを一望することができ、参拝客の様子や仲見世の賑わいなども見ることができてとても面白かったです。山門から降りたあとは、お参りをして善光寺を後にしました。今回は時間がなくて廻れませんでしたでしたが今度来たときは宝物館や史料館も見学してみたいと思いました。



↑山門には「賀正」の文字が



↑長野市内を一望

長野 13：06→長野電鉄長野線 貸し切り→湯田中 14：15

湯田中 14：24→→長野電鉄長野線 貸し切り→→長野 15：36

昼食を済ませて集合場所である長野電鉄の改札前で集合してよいよ貸切列車の待つホームへ。

長野電鉄は長野～湯田中の33.2kmを結ぶ私鉄で、沿線には「信州の小京都」と呼ばれる小布施や渋温泉などの有名な観光地があります。在籍している車両の

長野電鉄長野駅は意外にも地下駅→



多くは元々首都圏の鉄道会社を走っていたもので、この地で第二の人生を送っています。通常ダイヤの間を縫って運行する形になるので、貸し切り列車を運行していただく際には事前に申し込みをしてからになります。今回貸切を行ったのは3500系（元日比谷線3000系）O2編成で現存するなかで最古参の車両でした。貸切列車を運行していただくのは高輪の卒業生だということで、長野電鉄の運転士になっていることは聞いていたのですがまさか本当に乗務していただけるとは思っていなかったものでうれしかったです。



↑「営団ドア」と呼ばれるドアの上半分の小窓が特徴的



↑車内は日比谷線当時の面影をそのまま残している



↑2100系特急「スノーモンキー」
(元JR東日本253系「成田エクスプレス」)
かつて首都圏を走っていた名列車もここではまだまだ現役の営業列車として運行している。



↑1000系特急「ゆけむり」
(元小田急10000形ロマンスカーHiSE)

もちろんこれらの列車の貸切も行うことが出来る。

列車は長野駅を出発すると善光寺下までの市内中心部の地下区間はまるで地下鉄のようです。最初はこの区間も地上を走っていましたが、戦後になり道路交通量が増えたので地下化されました。本郷で地上に出て、朝陽を過ぎると単線になり一気にローカル線の風景になります。運転停車もありながら柳原を抜け、千曲川を渡ると須坂、小布施と温泉地を進みます。現在は廃止されてしまった木島線との分岐駅であった信州中野を過ぎ、山線区間を抜けると志賀高原の玄関口、終点の湯田中に到着しました。信州中野で多くの列車が引き返してしまうため湯田中駅は二面一線の小さな造りになっています。皆で列車をバックに集合写真に収めて、また長野駅へと戻ってきました。行きの小布施、帰りの信州中野では長時間停車があったため運転士さんと話したり、駅周辺の鉄道遺構を見て回ったりと長野電鉄の貸切列車旅行を満喫し、長野電鉄の鉄道旅を終えました。



↑朝陽～附属中学校前間で撮影



↑小布施駅前に展示されている2000系



↑信濃竹原の駅舎内に今も残されている、現在は廃線になっている木島線と屋代線の運賃表



↑雪山に映えるりんご畑

長野 16:03 → JR 信越本線・篠ノ井線 普通・甲府行 → 塩尻 17:36

長野電鉄長野駅で解散後、葦崎までは再び自由行動。姨捨や聖高原といった雪深い山間部を南下後、長野県第二の都市松本からは中央本線を走行します。普通の人たちは下車せずにそのまま葦崎を目指すのですが、僕たちは一旦塩尻駅で下車しました。



↑姨捨駅ホームから善光寺平を望む
日本三大車窓の一つにも数えられる絶景

塩尻 17:40 → JR 中央本線 普通・辰野行 → 辰野 18:01



↑E127系はワンマン列車での運行

中央本線塩尻～岡谷間には2つのルートがあり、一つは特急あずさなど多くの列車が走行するみどり湖経由の現在主流となっているルートで、もう一つは辰野を経由して岡谷に至るルート。もともとは辰野周りのルートしかありませんでしたが、短絡路としてみどり湖を経由する塩嶺トンネルの開通によりルートが2つになったわけです。かくして本線と別れ辰野へ向かいました。

辰野 18:20→→JR 中央本線 普通・上諏訪行→→岡谷 18:31

辰野駅は飯田線の起点となる駅ですが大多数の列車が特急の走る岡谷方面からの直通列車なのでこの駅からの始発列車はほとんど設定がありません。飯田線では伊那、飯田と長野県を南下し、最終的に愛知県の豊橋まで行くことが出来るのでびっくりです。岡谷へと向かう列車は上諏訪行きですが、夕飯を調達するため途中の岡谷駅で下車しました。

中央本線岡谷方面、塩尻方面と飯田線が分岐する。また、この駅を境にしてJR東日本とJR東海とで管轄が変わる→



岡谷 19:10→→JR 中央本線 普通・大月行→→韮崎 20:19



↑ 駅舎のライトアップが幻想的

岡谷駅周辺で夕飯を調達し一路韮崎を目指します。富士見を過ぎて県境に差し掛かるころには車内に空席が目立つようになりました。小淵沢から山梨県に入り甲府盆地へと向かう韮崎で自由行動は終わりです。

韮崎 20:27→→JR 中央本線 特急あずさ 34号・新宿行→→新宿 22:07

韮崎での乗り換え時間が8分と短かったですが無事に全員で特急に乗車できました。特急あずさの車内販売が縮小されアイスクリームとコーヒーの販売がなくなったのは残念でしたがそれでもお菓子などの軽食は顕在です。小仏峠をこえて八王子市に入るとあっという間に着きました。終点の新宿には22時を回って少し遅めの到着でした。東京駅を出てから丸15時間、普通電車が多かったということもあって移動の時間が長くなってしまいましたが、長野電鉄、長野市内観光、駅周辺の散策とめぐることが出来たので盛りだくさんな長野旅行でした。



↑ E257系が引退し、中央線の特急は全てこのE353系に置き換わった

これ以降は新型コロナウイルス蔓延のため、鉄研旅行は春、夏と実施できていません。収束後の鉄研旅行を待ち望みつつ、旅行記を終えさせていただきます。